

授業科目名	保健体育Ⅳ	※必修	開講年次	1	単位数	1
科目区分	保健体育科目					
サブタイトル	生涯スポーツに向けて（２）		担当者	藤澤 邦彦		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>スポーツを生涯に亘って楽しむためには、自由なスポーツ実践に伴う責任を意識しなければならない。自、他の運動障害に対する責任、仲間が楽しむことの保障等であり、これはスポーツマンシップやルールの遵守によって成り立つ。スポーツに適した身体づくりや環境づくりも怠ってはならないことを学ぶ。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯スポーツの意義を認識する。 2. スポーツマンシップを尊重し、スポーツの楽しみ方を学ぶ。 3. 各種スポーツの基礎的スキルを習得し、自分の生涯スポーツ獲得に役立てる。 					
履修条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ法コース以外の男子を対象とする。 2. 安全上、遅刻、早退、欠席をしないこと。 3. スポーツウエア、屋内及び屋外用シューズを必ず準備すること。 					
教科書・参考書	<p>【教科書】 使用しない。</p> <p>【参考書】 指定しないが、必要に応じて各自準備すること。</p>					
授業回数	内容					
1	オリエンテーション、ランニング（１）：基礎理論および実習					
2	ランニング（２）：タイム設定による実地練習					
3	ランニング（３）：距離設定による実地練習					
4	硬式テニス（１）：ダブルスの基礎理論および個別実習					
5	硬式テニス（２）：実戦練習					
6	硬式テニス（３）：ゲーム					
7	バレーボール（１）：基礎理論および個別実習					
8	バレーボール（２）：基礎理論および実習					
9	バレーボール（３）：ゲーム					
10	バスケットボール（１）：基礎理論および個別実習					
11	バスケットボール（２）：実戦練習					
12	バスケットボール（３）：ゲーム					
13	フットサル（１）：基礎理論および個別実習					
14	フットサル（２）：実戦練習					
15	フットサル（３）：ゲーム、まとめ					
評価方法	出席状況（全出席を基準とする）、受講態度、スポーツマンシップの遵守状況および実技の上達状況を総合して評価する。					
評価基準	出席状況が良好であり、授業内容についてよく理解し、適切に実技実習ができた者は「A」、授業内容の理解や実技実習に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とする。出席状況が不良の者および授業内容の理解や実技実習が不十分な者は「D」、評価できない者は「E」とする。					
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天候や施設・用具の状況により、予定を変更することもある。 2. 授業の円滑な運営のために、用具の準備や片づけに協力すること。 <p>※D・Eカリキュラム（スポーツ法）コース以外の学生は選択科目</p>					